

# 令和5年度 堀之内小学校 学校経営構想

## 1 国や県、市の教育施策や基本方針

国や県、菊川市がめざす教育を踏まえ、活気ある堀之内小学校の教育活動を展開する。

国 学習指導要領(「生きる力」の育成)

県 静岡県の教育(「有徳の人」の育成～誰1人取り残さない教育の実現～)

市 菊川市の教育理念(豊かな学びで歩み続ける人づくり)

学舎 菊西学舎教育目標(地域に誇れる、地域が誇れる菊西学舎)

## 2 今日的な教育課題とされること

- (1) 自他のよさを認める心、他人を思いやる心の育成。
- (2) めあてに向かって主体的に努力する心、最後までやりとげる心の育成。
- (3) 自分の思いを表現する力の向上、学習の基礎基本の定着。
- (4) 健康や安全に対する意識の向上と規範意識の育成。

## 3 学区について

菊川市の北部に位置し、JR線北側唯一の学校。郷土意識が強く、町部コミ協の「ふるさと学校(通学区合宿)」が始まったのは平成16年。地域における子どもたちの「受け皿」探しが話題になったのが平成14年ですからその取組は早かったです。西方地区も平成28年から通学区合宿を始めました。名称「たきのやのみなみの学校」は、郷土意識の表れです。

注：『たきのやのみなみ』

堀小応援歌の歌い出しは、「♪滝の谷南、高田の北に、鍛えに鍛えしその鉄脚を、はやてと走り～」となっています。



## 4 児童の実態

<よい表れ>

- (1) 素直。明るく元気。 →本校の一番の自慢・財産である。
- (2) 思いやる心があり、下級生の世話をしたり、遊んだりすることができる。
- (3) あいさつができる子が増えてきた。 →高学年のあいさつが下級生に広がっている。
- (4) 話をきちんと「聞く」構えが身についてきた。 →聞かせる指導の浸透である。
- (5) 行事や活動に積極的に取り組む。 →教師の仕掛け、支援、見届けが裏にある。

<あらためたい表れ>

- (1) 学習意欲の低い子、学習習慣や構えの身についていない子が少なからずいる。
- (2) あいさつや授業中の発表を苦手(質・声の大きさ)とする子がいる。
- (3) 学級内での人間関係づくりが苦手な子が少なからずいる。
- (4) 難しいことや苦手なことに向かう気持ちが弱い子、自己肯定感の低い子がいる。

## 5 子どもにつけたい力

- (1) 基礎学力(読み、書き、計算、根気強く考える力)
- (2) 自己肯定感、自尊感情
- (3) 規範意識(ルールやマナーを守る心)
- (4) 自己表現力(人前でもきちんと話す力)
- (5) 思いやり(思いやる心、認め合う心)



学力(2年算数 重さ)



学力(3年理科 かがみ)



規範意識(2年 名札つけ)



仲間意識(3年 長縄跳び記録会)



責任感(水が冷たいけれど最後まで)



規範意識(4年 もくもく掃除)

## 6 学校教育目標

# 蛍雪の力

R2から継続



『蛍雪の力』とは？

→よりよい自分や仲間をめざし、がんばり続ける力

- ①めあて・考えをもつ力
- ②よく聴き、はっきり話す力
- ③挑戦する心
- ④乗り越える心・力
- ⑤認め合い、高め合う心
- ⑥仲間の一体感を大切にする心 など

## 7 重点目標 ※指導の場で常に意図的に語る言葉

### よりよい自分をつくろう ～本気の手で～

R2から継続

本校児童は、笑顔が素晴らしい。保護者の学校に対する大きな肯定感の背景には、間違いなくこれがあると思われまふ。

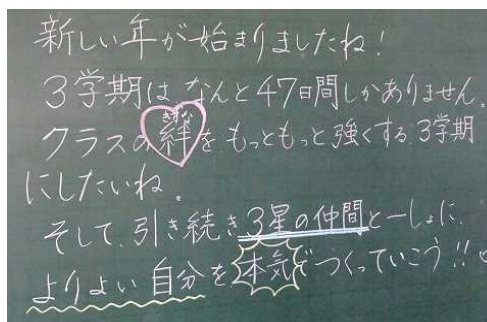
保護者の信頼を得るための方法の一つは、学校が子どもたちの「笑顔」をたくさんつくること。子どもの笑顔は、学校の自慢であり財産です。今後も、教育活動を通して子どもたちの笑顔をいっぱいにしていきます。とりわけ、本校児童のよさである「活気・元気」いっぱいの笑顔に、「本気」の笑顔を加え、正に日本一の学校を目指します。

『本気』の笑顔とは…。

- ・黙々と働いた後の笑顔
- ・いつもより頑張れた後の笑顔
- ・粘り強く取り組んだ後の笑顔
- ・苦手を克服した笑顔
- ・「やってよかった」と思えた時の笑顔など

～じっくり・もっと・とことん・何べんも・

完璧に・最後まで・昨日より・もう少し～



(3年星組 3学期始業式おはよう黒板)

令和4年度の評価結果と令和5年度の目標数値

	児童				保護者		
	R3結果	R4目標	R4結果	R5目標	R3結果	R4結果	R5目標
1 学校が楽しい	96	93	○95	93	97	99	
2 みんなで何かする。楽しい	96	91	○96	91	99	100	
3 授業に主体的	93	91	90	91	92	93	
4 授業がよくわかる	93	92	○95	92	89	89	
5 信頼できる先生	93	91	○95	91	94	97	
6 地域や社会をよくするために	80	81	○85	81	85	87	
7 話し合う活動を通して、考えを深め、広げる	92	91	○93	91	92	97	
8 ICTをどの程度使ったか	98	98	○98	98	97	97	

「本気」は、実は、5年度の職員の手勢でもあります。



8 資料 「蛍雪」について ～堀小教育の伝統の精神～

『蛍雪の功』

孫子 世録にいわく、  
康 家貧にして油なし

常に雪に照らして  
書を読む  
少小より清介にして、  
交友雑ならず  
後に 御史 大夫に至る

晋の車胤、字は武士、  
南平の人なり  
恭 勤にして倦まず、  
博覧 多通なり

家貧にして  
常には油を得ず  
家月には 則ち練囊に  
数十の蛍火を盛り、  
以て書を照らし、  
夜を以て日に継ぐ

『蛍雪の功』

おおよその意味

昔、強い志をもって、  
勉学に励む車胤と孫康  
という若者がいた。

二人とも家が貧しく、  
夜勉強したくても灯り  
に使う油を買うお金さ  
え無かった。

そこで孫康は、冬に  
は窓の近くに雪を積み、  
月の光が反射した明か  
りで勉強を続けた。一  
方車胤は、夏は蛍を集  
めて袋に入れ、その光  
で徹夜で勉強した。

二人の努力は報われ、  
やがて、志した御史大  
夫という高官となって  
出世した。

明治43年、漢人廣吉先生(明43尋常小着任)が、中国の故事『蛍雪の功』を基に校章を作り、この教えを本校教育の基として広めました。校章は、3匹の蛍が「堀小」の文字を囲んでいます。中央の白は、雪の結晶をイメージしたものです。この蛍雪の精神が堀之内小学校教育の根底として受け継がれてきています。 ※『堀之内小学校百年誌』より

以来、学校教育目標が変遷しても、本校教育の理念は「蛍雪の精神」として当たり前のように考えられてきました。



平成27年度からは、この「蛍雪」を重点目標に掲げ(R2からは学校教育目標に格上げ)、子どもレベルで日常化を図る実践が始まりました。その中で、蛍雪の精神を、児童はもとより広く家庭や地域にも伝えるためにオリジナルキャラクター「蛍雪くん」がつくられ、堀小教育に大きな役割を果たしてきました。「蛍雪くん」は、児童に親しまれ、また行事や集会に登場。今では学校中の至る所に「蛍雪くん」を用いた掲示が見られるようになっています。そして、2年度からは、重点目標の新しいキーワードとなる「本気」をイメージする「本気くん」が仲間入り。がんばる子どもを力強く応援するキャラクターとなっています。さらに、4年度には、「聞くくん」が加わりました。「聞く」は、他を思いやる姿勢の第一歩です。



蛍雪くん1号



2号



3号



本気くん



聞くくん

## 9 経営の重点

「安定している」と言われることの多い本校ですが、基本的な生活習慣や規範意識の弱い子、自尊心の低い子などが少なからず見られるようになってきました。

今後は、職員の共通理解の下、日常生活指導をきちんとすると共に、「持続的に安定した教育を展開する学校」を目指す必要がある、と考えます。時が経っても、



**「堀小の子は堀小の子」「堀小の子って、こうだよ」と言える学級、学校づくり** を

してまいります。以上のことから、学校経営の基本方針を以下10点とします。

### (1)教師の営みの核に、「聞く子を育てる」「勇気づけの言葉」を据える

多様な価値観や考え方、多様な現れや行動をする子が増えてきています。それぞれに理由があり、私たちは丁寧な対処を心がけますが、これにも限界があります。

そこで、個々への指導を大切にしつつ、ひとつ見方を変えた指導を始めていきます。鳴門教育大学久我直人教授から御指導いただいたものです。これを、新しく転入してくる職員と共に継続、浸透させる。

聞く子を育てることと  
勇気づけの言葉で  
堀小の子どもたちを育てます



(1年雪組 3学期おはよう黑板)

### (2)コロナとともに

「withコロナ」が続きます。当然「3密」回避や感染防止対策も続きます。これまで同様に行事や活動の制限や見送りが考えられますが、「こうやればできる」「これならできる」という方法を考える中で、「蛍雪の力」「よりよい自分をつくろう～本気の力で～」を実現していきます。

(3)「開校150周年」ならではの取組を 堀小の歴史を学び、よさ(伝統)を認識・共有  
節目の年です。ビッグイベントは行わない予定。しかし、この地で育ち、生きていく子たちにとって本校の伝統と歴史を新ためて感じさせてあげることは必要です。歴史は学びづくり部、よさ(伝統)は心づくり部で検討します。

(4)確かな学力 「学力」は、学校教育が果たす説明責任「人間形成」「学力保障」の一つ。

★ 子どもたちの学校生活の大部分を占める「授業」が核。ここで確実な指導をします。

★GIGAスクール。一人一台端末

- ・ 求められるのは、積極的且つ効果的な活用。「使ってます」から「効果的に使っている」へ。

- ・ 物としての管理、或いは生徒指導面での管理が必要になっています。生徒指導担当とICT担当から子どもたちに継続的な指導をします。

### (5)心の教育の推進 人・言葉・物がつくり出す「いい空気」の中に子どもを置く

- ★ 基本的な生活習慣・規範意識を身に付けさせることは全ての教育活動の基盤。
- ★ 学級は、子どもにとって「生活の基地」。すべての教育活動の基盤ととらえます。  
「だれもが尊重され、きびしさとやさしさのある学級づくり」を目指す。そのために
  - ・ 活力のある学級(係や当番の動きが見える。〇〇に向けてみんなが動く、等)  
生活の基礎基本をわきまえた学級(名札。ハンカチ・ティッシュ。爪。言葉使い等)  
環境の整った学級(朝の窓開け。ゴミ箱の始末。落ちているごみなし、等)  
を進めます。子どもたちが、「これが私たちの学級」と自信をもち、自慢できるように。
  - ・ 時と場に応じたマナー(あいさつ、返事、言葉遣い)を身に付けさせます。学年の発達段階を押さえて取り組みます。時間を守る、食事の作法、清掃なども勿論指導の対象です。
  - ・ 道徳教育の要である道徳授業の充実に努めることは勿論、いじめや不登校のない学校づくりを目指します。

### (6)活力と潤いのある教育活動の推進

- ★ 本校の特色ある活動を守り育てる。  
行事や活動が縮小傾向にありますが、そのかわり、「やると決めたらやる」「成果が出るようにやる」という姿勢で取り組みます。  
大切にしたい活動
  - ・ 広い運動場、自然がいっぱい子どもの森。  
→長い休み時間。用のない子はみんな外に！」
  - ・ 委員会活動  
→責任ある日常当番活動を重視。
  - ・ あいさつ



### (7)安心、安全の学校づくり 『命はすべてに優先する』

- ★ 学校生活における安心・安全は全ての活動の基盤。3つの安全(生活・交通・災害)については、常に目と心で未然に防ぐよう心がけます。
- ①生活安全
  - ・ 毎月の安全点検を確実に。



- ・ 校舎内外での子どもたちの動きに気を配ります。教師のいない所、目が届かない所での行動に注意を払います。

### ②交通安全

- ・ 特に交通事故は「一寸先」に危険があります。帰りには、しつこいくらいに、「横断歩道を渡る」「飛び出しをしない」「ヘルメットをかぶる」等を子どもに繰り返し言い続けます。

### ③災害安全

- ・ 平時にこそ、とりあえず多様な想定(検討)の訓練(検討)を重ねます。『完璧なマニュアル』づくりよりも、とりあえず1つ1つやってみます。

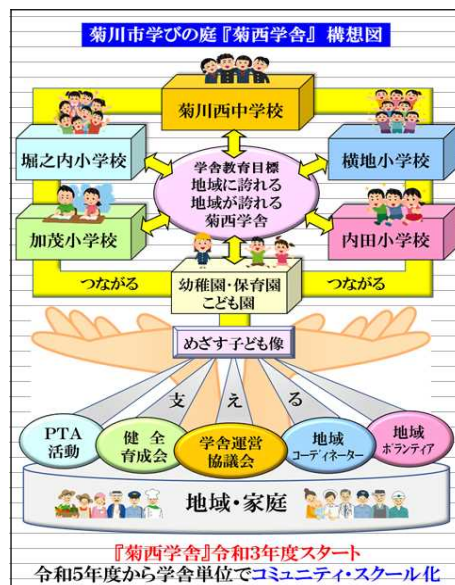
## (8)保護者・地域との連携

- ★ 今こそ、地域に開かれた学校。今だから、地域に開かれた学校に。
- ★ 保護者は、我が子を通して学校を見ています。1枚のプリント、電話での一声、連絡帳の数行を大切にしていきます。



## (9)「学びの庭」構想。西中学校区一貫教育が本格スタート

校区内の縦(小中間)と横(小小間)のつながりを深めていきます。学舎運営協議会(自治会、コミ協、健全育成、PTA等で構成)の人選も終わっています。関連して、「魅力ある学校づくり」の取組も継続です。



## (10)教職員の資質向上と組織の活性化

指導部会では、重点目標や行事や活動の目標が達成されるように具体的な手だてを打つ。「去年の提案通り」ということも勿論あるが、責任をもって提案を。

学習や生活指導など継続性の問われることについては、PDCAのサイクルの中で、根気強く指導していきます。

令和5年度も、

堀之内小は、『蛍雪の力』『本気の力』で子どもを輝かせます。